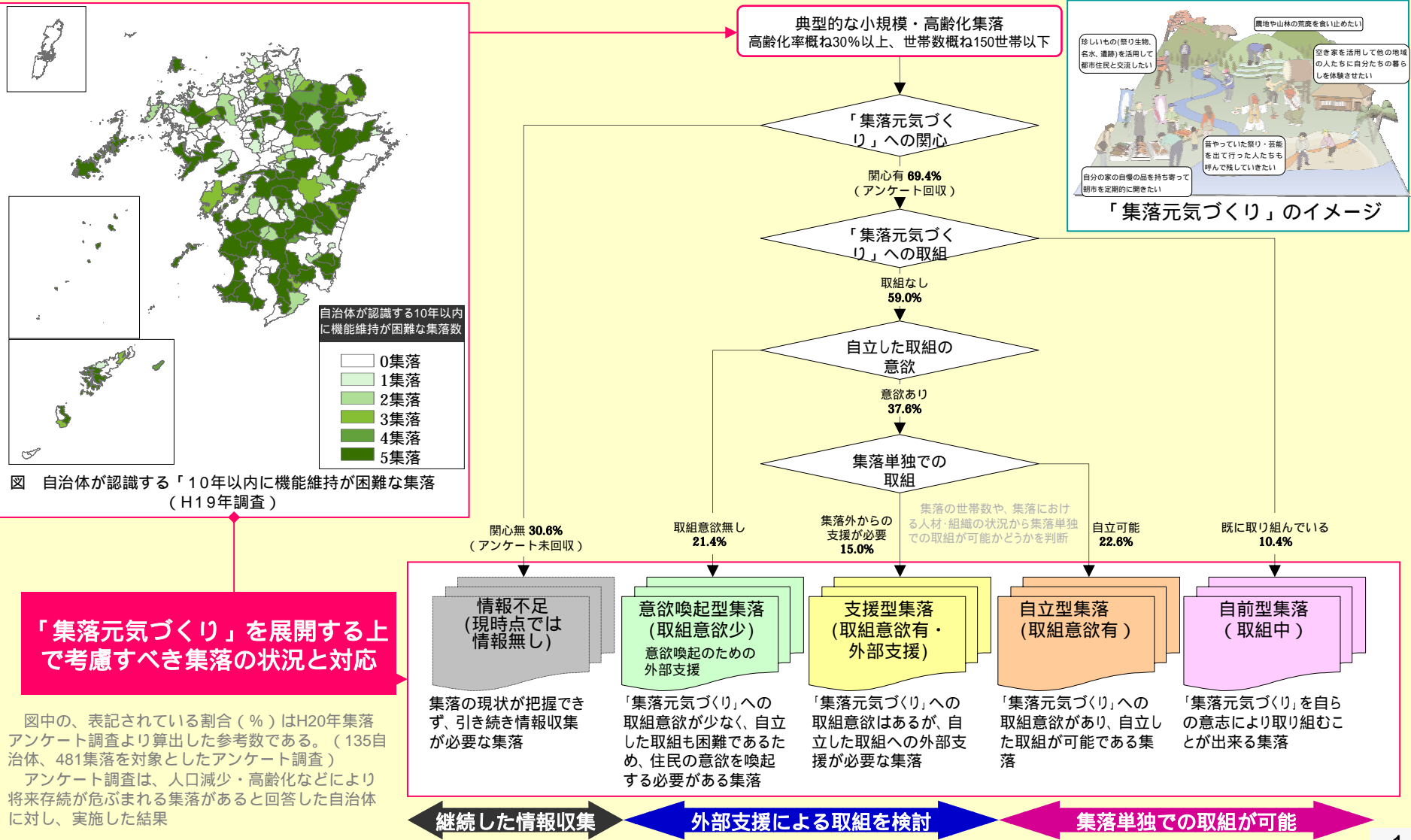


## 第2回検討委員会の意見と対応

# 取組に向けた集落の意向 (第2回委員会資料抜粋)

小規模・高齢化集落に対し、「集落元気づくり」の取組に向けた集落の状況を把握し、その状況に応じたプロセスを考慮する。例えば取組意欲がない集落には意欲を喚起するための、状況に応じた支援のあり方を考慮する必要がある。

「集落元気づくり」への取組に向けた小規模・高齢化集落の状況

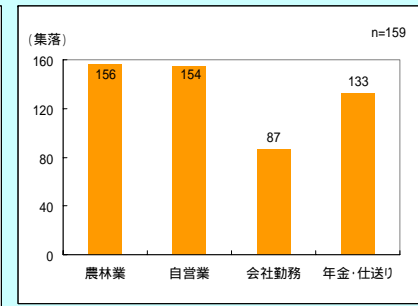
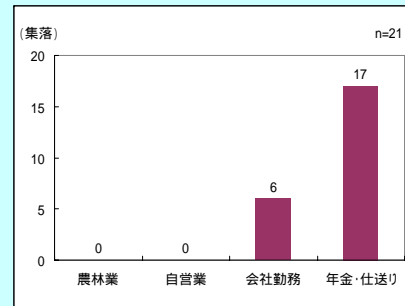
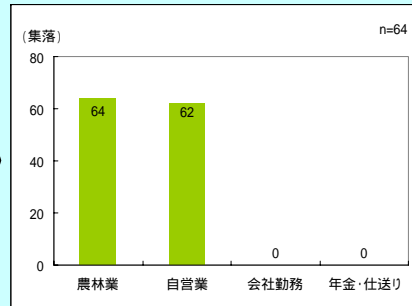
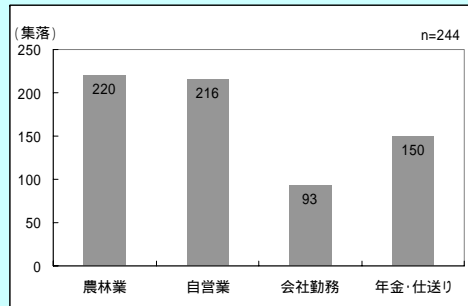


## 第2回委員会の意見と対応

・集落の分類について意欲を指標として用いることも良いが、経済指標も用いて検討を行う。

### 「集落元気づくり」への取組に向けた集落の状況と主な生業による傾向分析

平成19年度の自治体アンケート調査において実施した、「集落の生業」に関する調査を基に、「居住継続意志」及び「集落元気づくりへの取組意欲」とのクロス集計を行ったが、有意差はみられなかった。



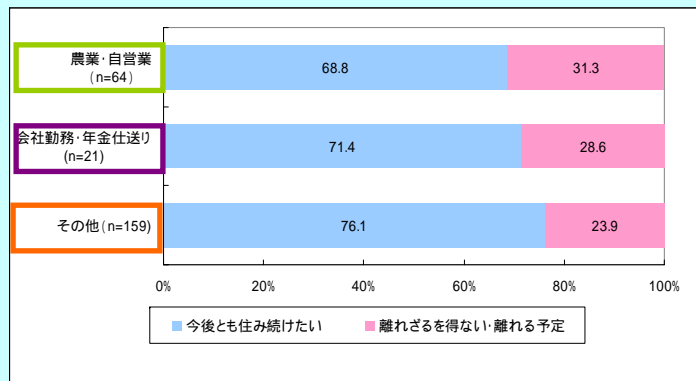
#### 集落の生業（複数回答）

#### 農林・自営業

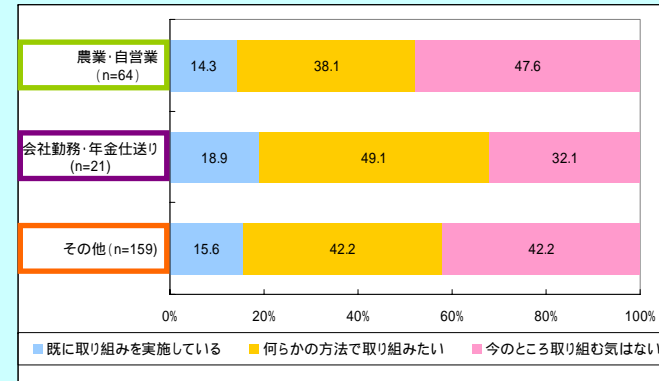
#### 会社勤務・年金仕送り

#### その他

集落の生業が複数回答のため、多変量解析により、「農林・自営業」「会社勤務・年金仕送り」「その他」の3タイプに分類



#### 生業別「居住継続意志」



#### 生業別「集落元気づくり取組意欲」

「生業別」と、「居住継続意志」「集落元気づくり取組意欲」とのクロス集計では、有意差は得られなかった。

### 結果・考察

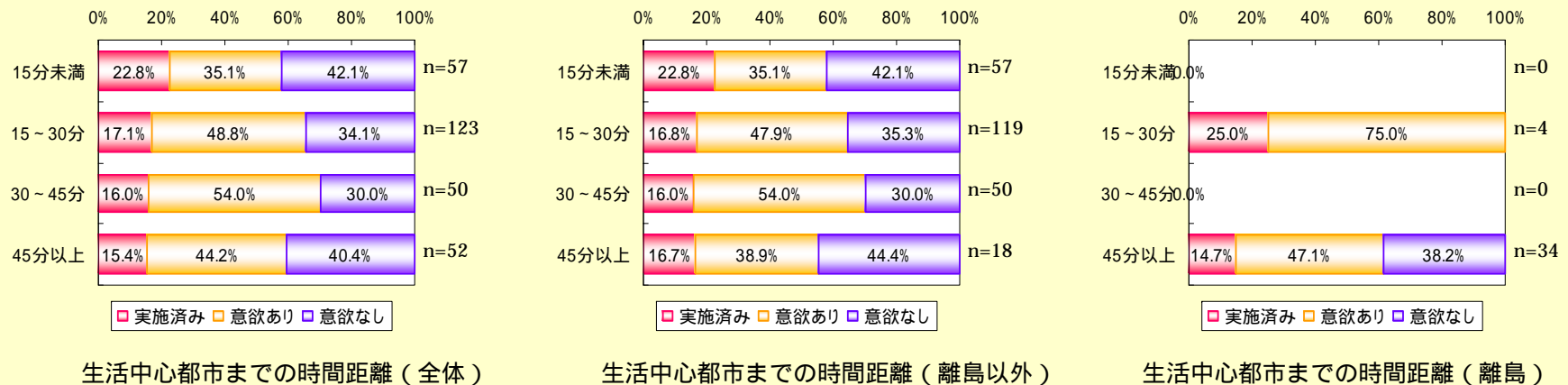
有意差が得られなかった原因として、今回の調査対象地そのものが、本来生業の厳しい集落を対象としていることから、有意差が得られなかったと考えられる。

## 第2回委員会の意見と対応

・40世帯以上の集落は、都市部に通うサラリーマン世帯が多いように思われる。これには通勤可能な距離についても関連するので、昨年行った距離の分析が、今回のタイプ分けとどのような関連があるのか関係性をみる。

### 「集落元気づくり」への取組に向けた集落の状況と生活中心都市との時間圏による傾向分析

「集落元気づくり」への取組に向けた集落の状況において、集落と生活中心都市までの時間距離に着目して分析を行った。分析の結果、生活中心都市と「集落元気づくり」の取組に向けた集落の状況と生活中心都市との時間圏の間には関連が見られなかった。時間圏の分析において、離島は異なる傾向を示すことから、分けて集計を実施した。(分けた結果において大きな違いはなかった)



### 結果・考察

「集落元気づくり」への取組に向けた集落の状況と生活中心都市との時間圏による傾向分析結果  
自前型集落は生活中心都市までの時間距離に近いほど割合が増加傾向が見られる。

「集落元気づくり」への取組に向けた集落の状況の生活中心都市との時間圏による傾向分析考察

「集落元気づくり」の取組に向けた意欲と集落と生活中心都市との時間圏の間には関連が見られなかった。